



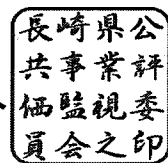
平成23年度

長崎県公共事業評価監視委員会意見書

平成23年9月9日

長崎県公共事業評価監視委員会

委員長 園田 圭介



平成 2 3 年度長崎県公共事業評価監視委員会意見書

1. 意見

諮問があった再評価対象 3 2 事業及び事後評価対象 9 事業については、いずれも対応方針（原案）どおり認めることに決定しましたので、答申します。

2. 審議過程における意見

【再評価対象事業】

・ 東長崎平間・東地区土地区画整理事業

近年の人口減少情勢を背景とした宅地需要の鈍化による事業規模の見直しについては、妥当であると判断する。

今後は、事業継続区域の早期完成とともに、除外される区域においては、地元が要望する下水道等のインフラ整備について早急な対応が望まれる。

・ 大島港改修工事

重要伝統的建造物群保存地区に指定されており、景観に配慮した施設配置の見直しについては、妥当であると判断する。

港内の静穏度を確保し、定期船や漁船の安全な係留、航行を確保するため、早期完成を図られたい。

・ 湯江川総合流域防災事業

当流域では、過去にも洪水被害が発生しており早期の治水対策が望まれる。そのためには、鉄道事業者との調整が不可欠となっていることから、早期の解決に努めること。

【その他】

・ 漁港漁場事業について

県内の漁港においては、現状においても漁業就業者の減少や高齢化が進んでいる。事業者においては就労環境の改善を目的とし施設の整備を図られているが、将来にわたり整備の効果が発現できるよう、新規就業者の育成等により、今後とも漁業者の確保に努めること。

・ 公共事業の実施に当たって

当初計画より事業費が増大した事業が見受けられる。事業計画策定時には、既存資料のさらなる活用などにより、正確な事業費の算定に努められたい。

3. 平成23年度の審議経過

・ 第3回委員会（平成23年6月20日開催）

再評価及び事後評価対象事業の説明及び審議
現地調査箇所の選定

・ 第4回委員会（平成23年8月8日、9日開催）

現地調査

再評価及び事後評価詳細審議事業の選定

・ 第5回委員会（平成23年8月30日開催）

再評価及び事後評価詳細審議事業の審議

注）詳細審議事業の選定に際して配慮した事項

①計画見直し等がある事業

②事業進捗が遅れている事業

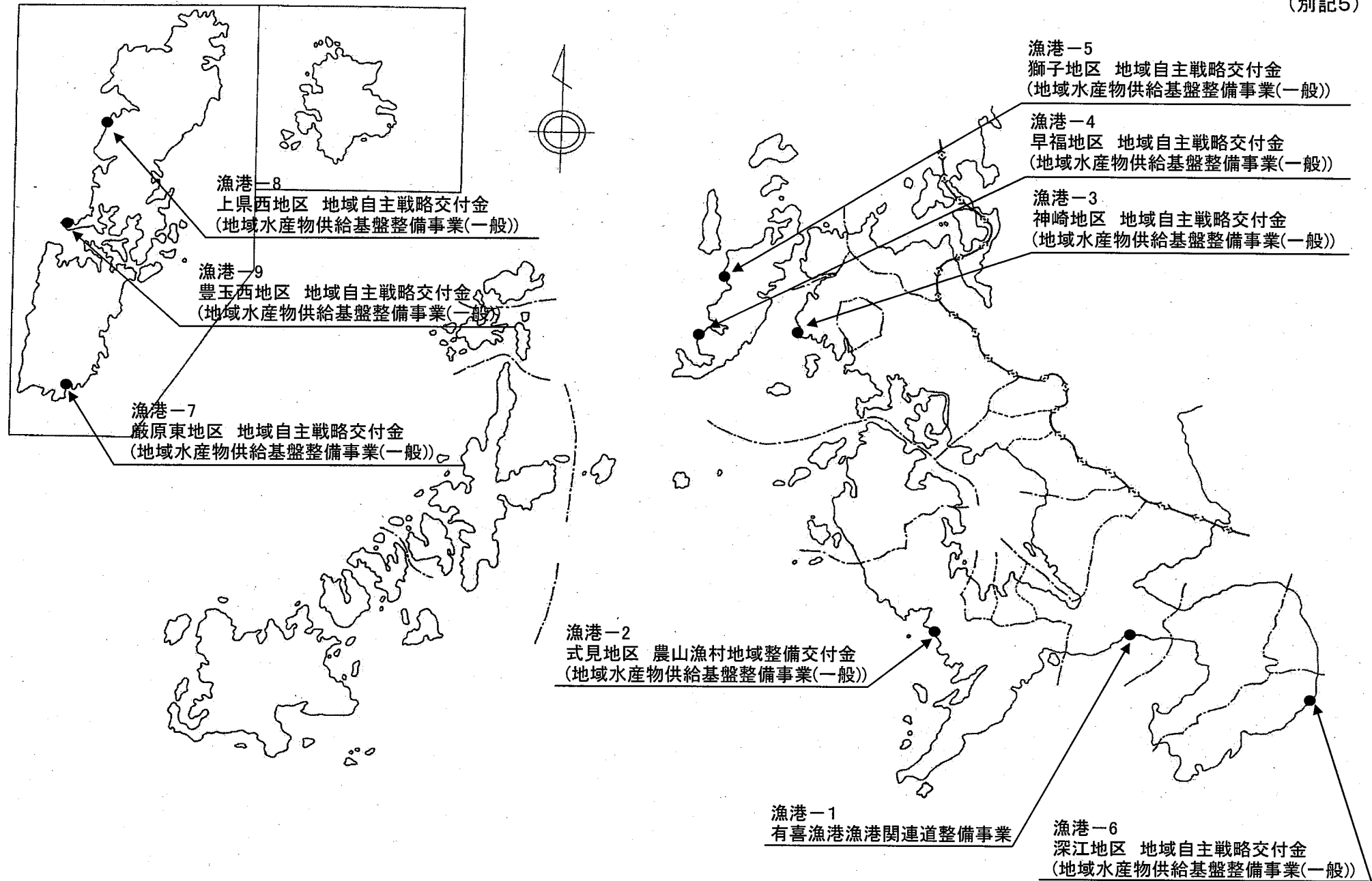
③事業費が増額となっている事業

平成23年度 再評価対象事業数一覧

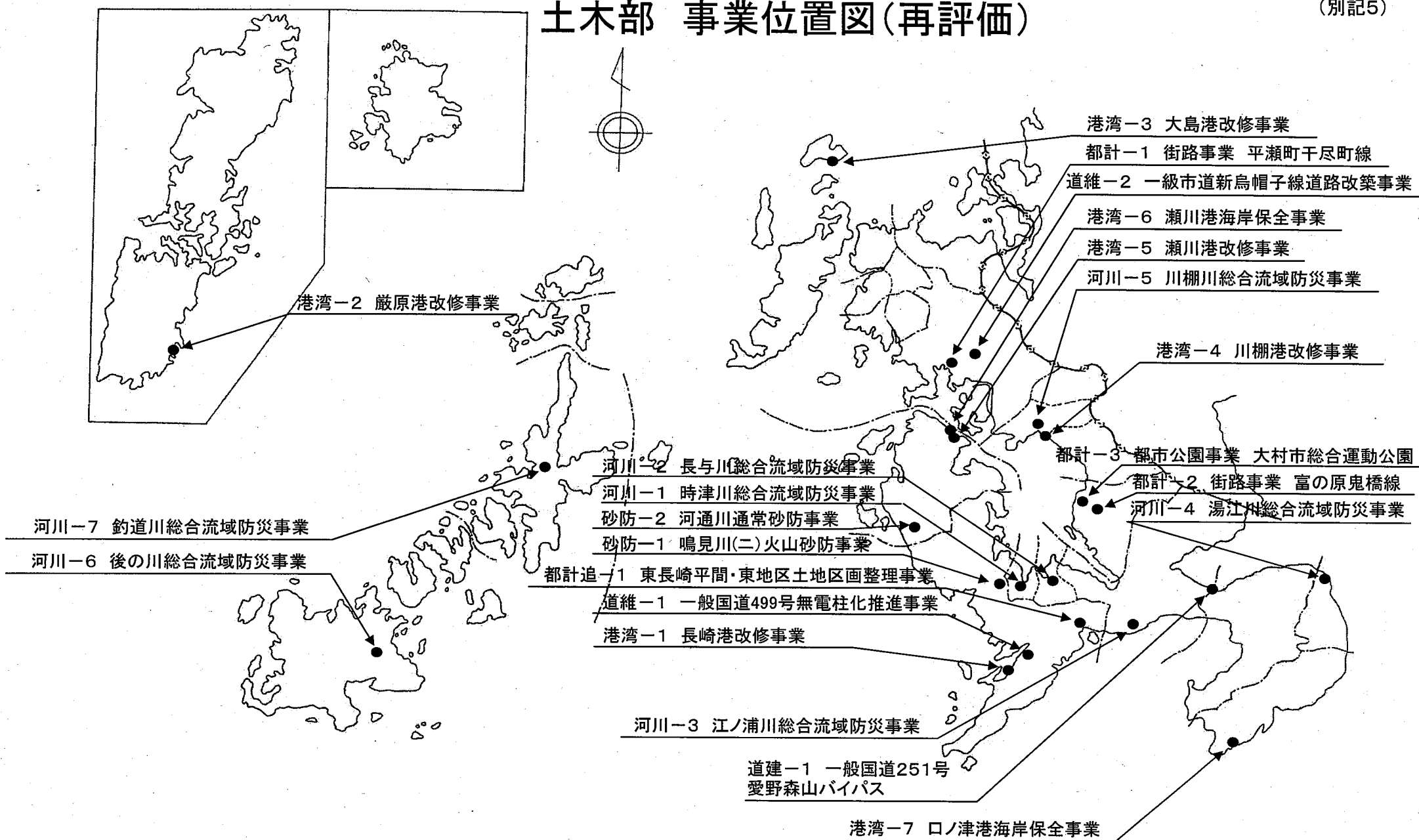
担当部	担当課	対象事業数	県事業	市町村事業	備 考
水産部		9	2	7	
	漁港漁場課	9	2	7	
農林部		0	0	0	
	農村整備課	0	0	0	
	森林整備室	0	0	0	
環境部		0	0	0	
	水環境対策課	0	0	0	
土木部		23	19	4	
	都市計画課	4	1	3	
	道路建設課	1	1	0	
	道路維持課	2	1	1	
	港湾課	7	7	0	
	河川課	7	7	0	
	砂防課	2	2	0	
	住宅課	0	0	0	
合 計		32	21	11	

水産部 事業位置図(再評価)

(別記5)



土木部 事業位置図(再評価)



平成23年度 再評価対象事業一覧表

整理 番号	事業計画								事業 進捗率 (%)	再評価の 理由	前回審議 年度	対応方針 (原案)
	事業名	施設名	事業 主体	事業箇所	事業概要	工 期		事業費 (億円)				
						着工	完了					
上段：当初 下段：変更												
水産部												
漁港漁場課												
漁港 -1	漁港関連道整備事業	有喜漁港	県	諫早市	道路L=962.7m	H8	H25	17.2	83.4	再評価後 5年経過	H18	継続
						H8	H25	19.3				
漁港 -2	農山漁村地域整備交付金(地域水産物供給基盤整備(一般))事業	式見地区 (式見漁港)	県	長崎市	沖防波堤L=115.5m、防波堤(改良)L=153m 護岸(改良)L=81.5m 導流堤(改良)L=100m	H13	H22	29.2	64.4	事業採択後 10年経過	H17	継続
						H13	H25	35.1				
漁港 -3	地域自主戦略交付金(地域水産物供給基盤整備事業(一般))	神崎地区 (神崎漁港)	市	佐世保市 小佐々町	防波堤L=80m、泊地A=8,700m ² 、航路A=8,500m ² -3m岸壁L=480m 道路L=550m 用地(A)=10,800m ²	H13	H22	21.4	90.4	事業採択後 10年経過	H17	継続
						H13	H25	26.1				
漁港 -4	地域自主戦略交付金(地域水産物供給基盤整備(一般))	早福地区 (早福漁港)	市	平戸市	防波堤L=50m、防波堤(改良)L=120m、泊地 A=500m ² 岸壁 L=70m、浮桟橋 1基、浮体式係船岸L=48m 用地(水面)A=1,600m ² 道路(効果促進)L=135m	H13	H21	13.0	76.6	事業採択後 10年経過	H17	継続
						H13	H25	15.8				
漁港 -5	地域自主戦略交付金(地域水産物供給基盤整備事業(一般))	獅子地区 (獅子漁港)(獅子漁場)	市	平戸市	防波堤(改良)L=270m、防波堤L=70m 浮桟橋1基 漁礁A=14ha	H13	H22	19.5	77.0	事業採択後 10年経過	H17	継続
						H13	H28	20.0				
漁港 -6	地域自主戦略交付金(地域水産物供給基盤整備事業(一般))	深江地区 (深江漁港)(深江漁場)	市	南島原市	防波堤L=70m、護岸L=237m、泊地A=8,000m ² 物揚場L=145m、船揚場L=30m、浮桟橋1基 道路(A)L=360m 用地A=6,000m ² 養殖場A=3.05ha	H13	H22	37.3	84.6	事業採択後 10年経過	H17	継続
						H13	H25	38.4				
漁港 -7	地域自主戦略交付金(地域水産物供給基盤整備事業(一般))	厳原東地区 (内院漁港)(安神漁港) (久和漁港)(安神漁場)	市	対馬市	A防波堤L=170m、-3m泊地A=400m ² -3m岸壁 L=100m、-2m物揚場(改良) L=72m 道路 L=170m 用地 A=4,420m ² 魚礁設置 A=21.47ha	H13	H22	36.0	57.0	事業採択後 10年経過	H17	継続
						H13	H28	38.1				
漁港 -8	地域自主戦略交付金(地域水産物供給基盤整備事業(一般))	上県西地区 (佐護湊漁港)(越高漁港) (女連漁港)(佐護湊漁場)	市	対馬市	防波堤L=60m、防波堤(改良)L=184m、護岸L=75m、泊地A=2,800m ² 物揚場(改良)L=50m、浮体式係船岸1式、船揚場L=12m 用地A=2,500m ² 道路L=296m 漁場V=6,548m ³	H13	H22	26.7	82.7	事業採択後 10年経過	H17	継続
						H13	H26	28.4				
漁港 -9	地域自主戦略交付金(地域水産物供給基盤整備事業(一般))	豊玉西地区 (唐崎漁港)(小網漁港) (豊玉西漁場)	市	対馬市	防波堤AL=250m、突堤L=25m、護岸FL=60m、導流堤L=20m -2.5m泊地BA=1,000m ² -3m岸壁(改良)L=35m、-2.5m物揚場BL=20m、浮桟橋1基 用地CA=2,500m ² 、用地(舗装)A=4,694m ² 魚礁ブロック 92個 蓄養水域A=10,000m ²	H13	H22	19.9	42.7	事業採択後 10年経過	H17	継続
						H13	H28	19.2				

平成23年度 再評価対象事業一覧表

整理 番号	事業計画								事業 進捗率 (%)	再評価の 理由	前回審議 年度	対応方針 (原案)
	事業名	施設名	事業 主体	事業箇所	事業概要	工 期		事業費 (億円)				
						着工	完了					
上段：当初 下段：変更												
土木部												
都市計画課												
都計 -1	街路事業	平瀬町干尽町線	県	佐世保市	延長 L=2370m 幅員 W=40m	H9	H24	109.1	79	再評価後 5年経過	H18	継続
						H9	H26	128.7				
都計 -2	街路事業	富の原鬼橋線	市	大村市	延長 L=705m 幅員 W=16m	H9	H22	28.2	49	再評価後 5年経過	H18	継続
						H9	H26	27.3				
都計 -3	都市公園事業	大村市総合運動公園	市	大村市	事業認可(第1期) A=9.6ha (全体計画 A=22.1ha) 多目的広場(ソフトボール 4面)、テニスコート 13 面 グランドゴルフ 16 ホール	H13	H19	38.6	39.1	事業採択後 10年経過	-	継続
						H13	H33	39.7				
都計追 -1	土地区画整理事業	東長崎平間・東地区	市	長崎市	施行面積:58.8ha、建物移転:348戸 宅地面積:36.0ha、道路延長:18,390m 施行面積:30.0ha、建物移転:209戸 宅地面積:20.2ha、道路延長: 9,770m	H12	H23	151.0	43.0	社会情勢の 変化	H21	見直し 継続
						H12	H28	105.0				
道路建設課												
道建 -1	道路改築事業	一般国道251号道路改良 工事 愛野森山バイパス	県	雲仙市 諫早市	延長L=1,800m 幅員W=7.0(12.0)m	H19	H24	92.0	64	事業採択後5年 経過	-	継続
						H19	H25	101.0				
道路維持課												
道維 -1	電線共同溝整備事業 (地域自主戦略交付金事 業)	一般国道499号	県	長崎市	L=590m W=19.5(34.5)m 電線共同溝 L=740m (一部片側設置)	H14	H19	8.0	46	事業採択後 10年経過	-	継続
						H14	H26	8.0				
道維 -2	道路改築事業 (社会資本整備総合交付 金事業)	新烏帽子岳線	佐世保市	佐世保市	延長 1.07km 幅員 6.0(10.0)m	H13	H25	9.9	54	事業採択後 10年経過	-	継続
						H13	H25	9.9				

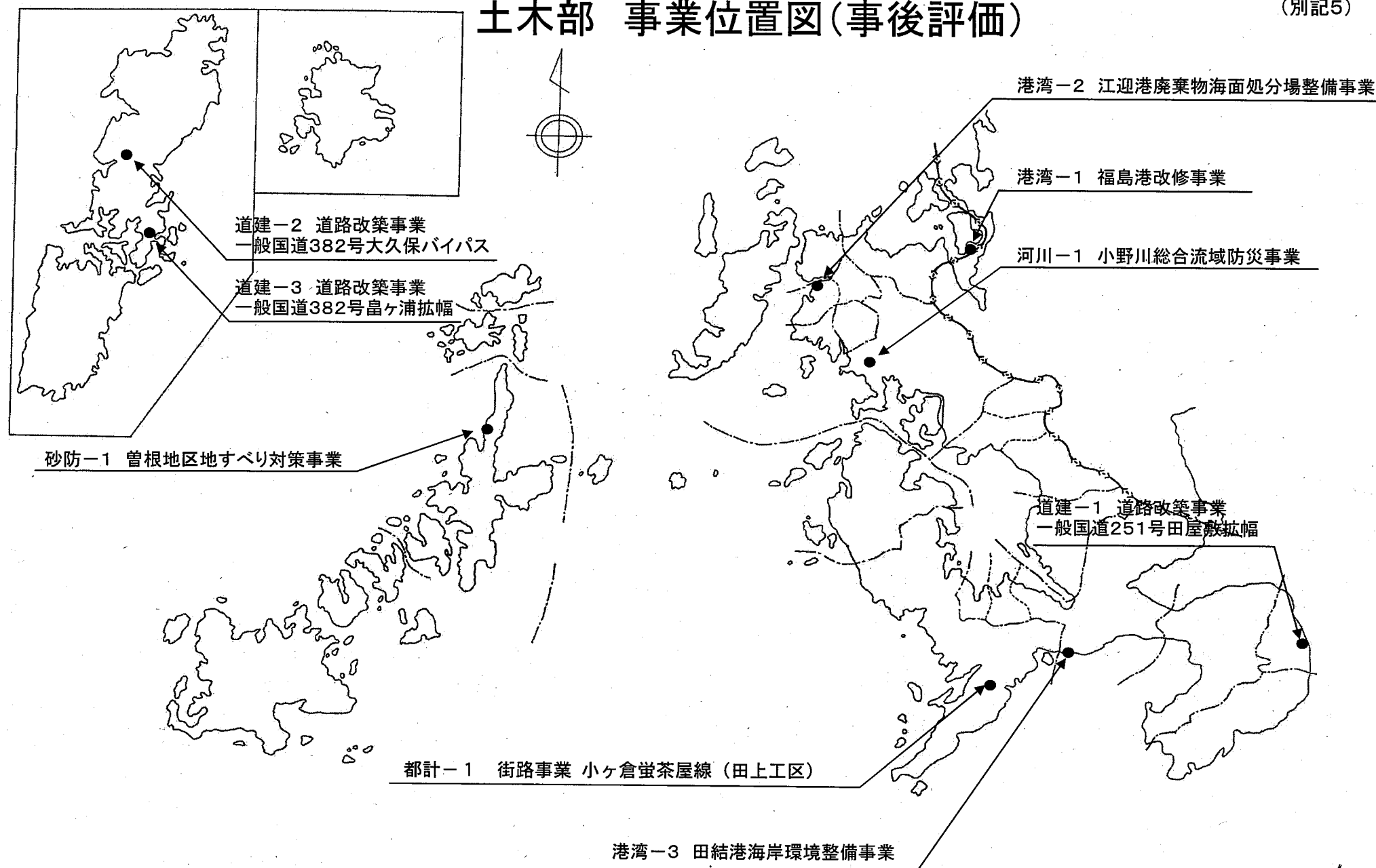
平成23年度 再評価対象事業一覧表

整理 番号	事業計画								事業 進捗率 (%)	再評価の 理由	前回審議 年度	対応方針 (原案)
	事業名	施設名	事業 主体	事業箇所	事業概要	工 期		事業費 (億円)				
						着工	完了					
上段：当初 下段：変更												
港湾課												
港湾 －1	長崎港改修事業	小ヶ倉柳地区 ターミナル再編事業	県	長崎市	岸壁(－10m)170m、岸壁(－7.5m)130m 道路600m ふ頭用地53,000㎡	H19	H24	30.0	63	事業採択後 5年経過	－	継続
						H19	H25	68.1				
港湾 －2	厳原港改修事業	厳原地区 離島ターミナル整備	県	対馬市	内防波堤 60m、護岸(防波) 90m 岸壁(－7.5m)(2) 130m 道路(F) 700m ふ頭用地 229千㎡	H15	H21	24.0	89	事業採択後 5年経過	－	継続
						H15	H25	31.3				
港湾 －3	大島港改修事業	神ノ浦地区 小型船だまり整備	県	平戸市	防波堤 30m、道路(改良) 4×200m 物揚場(－3m)(突堤) 30m 防波堤(東) 55m、道路(改良) 4×240m 物揚場(－3m)(突堤) 30m	H13	H17	4.5	76	社会情勢の 変化	－	見直し 継続
						H13	H25	14.7				
港湾 －4	川棚港改修事業	百津地区 臨港道路整備	県	川棚町	道路 1,008m 橋梁 1基	H8	H21	16.2	94	再評価後 5年経過	H17	継続
						H8	H24	19.5				
港湾 －5	瀬川港改修事業	畑下地区 小型船だまり整備	県	西海市	防波堤 115m、護岸(防波) 156.5m、泊地(－2m) 200㎡ 物揚場(－3.0m) 65m、浮桟橋 1基 船揚場 10m、道路 100m	H8	H21	21.9	99	再評価後 5年経過	H17	継続
						H8	H24	23.7				
港湾 －6	瀬川港海岸保全事業	護岸整備	県	西海市	護岸(改良) 650m	S62	H25	18.1	90	再評価後 5年経過	H18	継続
						S62	H25	18.5				
港湾 －7	口ノ津港海岸保全事業	護岸整備	県	南島原市	護岸(補強) 1,285m 樋門(改良) 1基 護岸(改良) 300m	S62	H28	25.4	88	再評価後 5年経過	H18	継続
						S62	H28	28.2				

平成23年度 再評価対象事業一覧表

整理 番号	事業計画								事業 進捗率 (%)	再評価の 理由	前回審議 年度	対応方針 (原案)
	事業名	施設名	事業 主体	事業箇所	事業概要	工 期		事業費 (億円)				
						着工	完了					
上段：当初 下段：変更												
河川課												
河川 -1	総合流域防災事業	時津川	県	時津町	改修延長 L=940m 河道拡幅、河床掘削、護岸整備、橋梁架替等	S63	H25	45.0	87.0	再評価後 5年経過	H18	継続
						S63	H27	47.1				
河川 -2	総合流域防災事業	長与川	県	長与町	改修延長 L=2,150m 河道拡幅、河床掘削、護岸整備、橋梁架替、堰改築等	H9	H26	10.7	72.7	再評価後 5年経過	H18	継続
						H9	H26	10.7				
河川 -3	総合流域防災事業	江ノ浦川	県	諫早市	工事延長 L=2,290m 河道拡幅、河床掘削、築堤、護岸整備、橋梁架替、堰改築等	H8	H29	45.0	57.8	再評価後 5年経過	H18	継続
						H8	H32	45.0				
河川 -4	総合流域防災事業	湯江川	県	島原市	改修延長 L=1,200m 河道拡幅、河床掘削、護岸整備、橋梁架替、堰改築等	H4	H23	10.9	40.2	再評価後 5年経過	H18	継続
						H4	H28	10.9				
河川 -5	総合流域防災事業	川棚川	県	川棚町 波佐見町	改修延長 本川:L=15,990m 支川:L=8,300m 河道拡幅、河床掘削、護岸整備、橋梁架替、堰改築等	S33	H28	137.2	98.4	再評価後 5年経過	H18	継続
						S33	H28	139.3				
河川 -6	総合流域防災事業	後の川	県	五島市	改修延長 L=1,080m 河道拡幅、河床掘削、築堤、護岸整備、橋梁架替、堰改築等	H14	H26	13.6	54.6	事業採択後 10年経過	—	継続
						H14	H29	13.6				
河川 -7	総合流域防災事業	釣道川	県	新上五島 町	改修延長 L=1,450m 河道拡幅、河床掘削、護岸整備、橋梁架替等	H4	H25	29.9	76.4	再評価後 5年経過	H18	継続
						H4	H29	29.9				
砂防課												
砂防 -1	火山砂防事業	鳴見川(二)	県	長崎市	砂防堰堤 1基 取付護岸工 L=68.5m 管理用道路L=187.5m	H14	H17	4.0	33	事業採択後 10年経過	—	継続
						H14	H26	4.0				
砂防 -2	通常砂防工事	河通川	県	西海市	砂防堰堤 2基 取付護岸工 L=36.5m 管理用道路 L=745m	H14	H22	10.1	87	事業採択後 10年経過	—	継続
						H14	H24	12.1				

土木部 事業位置図(事後評価)



平成23年度 事後評価対象事業一覧表

整理 番号	事業計画						該当基準	事後評価の評価項目
	事業名／施設名	事業箇所	事業概要	工 期		事業費 (億円)		
				着工	完了			
都計 -1	街路事業 ／小ヶ倉蛸茶屋線 (田上工区)	長崎市	延長 L=1.03km 幅員 W=18m	H6	H18	100.00	再評価実施 全体事業費 10億円以上 事業完了後 5年	(費用対効果の選定の基礎となった要因の変化) ・事業費の増(80億円→100億円) (事業の効果の発現状況) ・市街地中心部の渋滞緩和、斜面市街地の生活環境の改善に効果を発揮 (事業実施による環境の変化) ・広い道路空間が確保されたことで、部活動やウォーキングなどに利用されている。 (社会経済情勢の変化) ・本事業の完成後(H18.10)、市施工の小ヶ倉蛸茶屋線愛宕工区が平成22年7月4日に開通し、全線供用となった。 また、県事業の長崎南環状線の田上IC～新戸町ICが平成23年2月13日に開通している。 (今後の事後評価の必要性) ・事業の効果が発揮できていると判断されるため必要なし。 (改善措置の必要性) ・特になし (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性) ・特になし
対応方針(原案)								
(評価結果の同種事業への反映等) ・特になし								
道建 -1	道路改築事業 ／一般国道251号 田屋敷拡幅	島原市	延長 2.0km W= 6.5(16.0)m	H1	H18	51.70	再評価実施 全体事業費 10億円以上 事業完了後 5年	(費用対効果の選定の基礎となった要因の変化) ・事業費【46億(H14再評価)】→【51.7億(実績)】 ・計画交通量【9,700台/日(H32推計)】→【8,600台/日(H42推計)】 (事業の効果の発現状況) ・渋滞の解消【右折車による渋滞の解消】【車道幅員(路肩込み) 改良前6.0m→改良後10.0m】 ・自転車、歩行者の安全確保【自歩道設置による安全な通行の確保】(H17センサス 歩行者31人、自転車161人) (事業実施による環境の変化) ・沿道の開発【郊外大型店舗の出店が図られ、復興事業の支援が図られた】 (社会経済情勢の変化) ・市町村合併により、島原市と有明町が合併(H18.1.1) (今後の事後評価の必要性) ・費用対効果分析の結果や利用状況、事業効果の発現状況から一定の整備効果が得られており、必要性はない。 (改善措置の必要性) ・特になし (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性) ・特になし
対応方針(原案)								
(評価結果の同種事業への反映等) ・特になし								

平成23年度 事後評価対象事業一覧表

整理 番号	事業計画						該当基準	事後評価の評価項目
	事業名／施設名	事業箇所	事業概要	工 期		事業費 (億円)		
				着工	完了			
道建 一2	道路改築事業 ／一般国道382号 大久保バイパス	対馬市	L=1.90km W=6.0(10.0)m	H7	H18	32.53	再評価実施 全体事業費 10億円以上 事業完了後 5年	(費用対効果の選定の基礎となった要因の変化) ・事業費 【38億(H18再評価)→【32.5億(実績)】 ・計画交通量 【2,800台/日(H32推計)→【2,158台/日(H42推計)】 (事業の効果の発現状況) 線形改良に伴う走行性の向上【見通し困難箇所5箇所解消】 大型車すれ違い困難区間の解消【車道幅員(路肩込み)改良前6.0m→改良後10.0m】 (事業実施による環境の変化) ・特になし (社会経済情勢の変化) ・平成16年3月1日に旧六町(上対馬町、上県町、峰町、豊玉町、美津島町、厳原町)が合併し対馬市となった。 (今後の事後評価の必要性) ・費用対効果分析の結果等により一定の整備効果が発揮できていると判断されるため必要性はない。 (改善措置の必要性) ・特になし (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性) ・特になし
								対応方針(原案)
								(評価結果の同種事業への反映等) ・特になし
道建 一3	道路改築事業 ／一般国道382号 畠ヶ浦拡幅	対馬市	L=1.08km W=6.0(10.0)m	H7	H18	12.41	再評価実施 全体事業費 10億円以上 事業完了後 5年	(費用対効果の選定の基礎となった要因の変化) ・事業費 【25億(H18再評価)】→【12.4億(実績)】 ・計画交通量 【6,670台/日(H42推計)→【6,115台/日(H42推計)】 (事業の効果の発現状況) ・線形改良に伴う走行性の向上【見通し困難箇所2箇所解消】 ・大型車すれ違い困難区間の解消【車道幅員(路肩込み)改良前6.0m→改良後10.0m】 (事業実施による環境の変化) なし (社会経済情勢の変化) 平成16年3月1日に旧六町(上対馬町、上県町、峰町、豊玉町、美津島町、厳原町)が合併し対馬市となった。 (今後の事後評価の必要性) 費用対効果分析の結果等により一定の整備効果が発揮できていると判断されるため必要性はない。 (改善措置の必要性) なし (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性) なし
								対応方針(原案)
								(評価結果の同種事業への反映等) ・特になし

平成23年度 事後評価対象事業一覧表

整理 番号	事業計画					該当基準	事後評価の評価項目
	事業名／施設名	事業箇所	事業概要	工 期		事業費	
				着工	完了	(億円)	
港湾 —1	福島港改修事業 (福島地区)	松浦市	航路(-4.5m) 21,730m ² 泊地(-4.5m) 34,297m ² 防波堤(波除) 50m 岸壁(-4.5m) 260m 道路(c) 6×377m 埠頭用地 12,900m ²	S62	H18	19.46	再評価実施 全体事業費 10億円以上 事業完了後 5年 (費用対効果の選定の基礎となった要因の変化) ・貨物取扱量 (H11)11,500t→(H21)2,300t ・いりこ漁水揚量 (H11)50t→(H21)88t ・イベント駐車場 (H11)0人利用→(H21)8,200人が利用 (事業の効果の発現状況) ・いりこ漁 (H11)1隻引き→(H21)2隻引き 岸壁整備で新工場ができたことによる。 ・貨物取扱量 (H11)11,500t (H21)2,300t 数年に1度海老養殖で13,500t ・イベント駐車場 (H11)0人 (H21)8,200人 H11に岸壁が整備されて以降コンスタントに利用。 (事業実施による環境の変化) ・特になし (社会経済情勢の変化) ・特になし (今後の事後評価の必要性) ・なし (改善措置の必要性) ・今後、背後住民と交渉を重ねる必要がある。 (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性) ・特になし
							対応方針(原案)
							(評価結果の同種事業への反映等) ・特になし
港湾 —2	江迎港 廃棄物海面処分場整備事業	佐世保市	埋立護岸 1,226m	H3	H18	76.2	再評価実施 全体事業費 10億円以上 事業完了後 5年 (費用対効果の選定の基礎となった要因の変化) ・受入土量の実績により、便益効果を検証 (事業の効果の発現状況) ・埋立護岸の完了により、平成22年度末時点(H23.3)で廃棄物受入量1,000千m³ (事業実施による環境の変化) ・特になし (社会経済情勢の変化) ・平成22年3月31日に佐世保市と合併 (今後の事後評価の必要性) ・費用対効果分析の結果のとおり、建設発生土の代替処分によるコスト縮減効果が得られているため、今後の事後評価の必要性はない (改善措置の必要性) ・改善措置の必要性はない (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性) ・特になし
							対応方針(原案)
							(評価結果の同種事業への反映等) ・特になし

平成23年度 事後評価対象事業一覧表

整理番号	事業計画						該当基準	事後評価の評価項目
	事業名／施設名	事業箇所	事業概要	工期		事業費		
				着工	完了	(億円)		
港湾 一3	田結港 海岸環境整備事業	諫早市	突堤 3基 人工海浜(養浜) 140,000m ³ 人工海浜(潜堤) 340m 護岸 784m 遊歩道 41,860m ² 植栽 18,700m ²	H3	H18	65.50	再評価実施 全体事業費 10億円以上 事業完了後 5年	(費用対効果の選定の基礎となった要因の変化) ・利用者数の予測値について、供用開始～H22までの実績で検証する。 (事業の効果の発現状況) ・年平均(平成14年～22年)約4万9千人の海水浴客に利用されている。 (事業実施による環境の変化) ・特になし (社会経済情勢の変化) ・特になし (今後の事後評価の必要性) ・特になし (改善措置の必要性) ・特になし (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性) ・特になし
								対応方針(原案)
								(評価結果の同種事業への反映等) 特になし
河川 一1	小規模河川改修事業 ／小野川	佐世保市	L=1,580m 築堤、掘削、護岸整備、 水門及び橋梁架替	S46	H18	49.66	再評価実施 全体事業費 10億円以上 事業完了後 5年	(費用対効果の選定の基礎となった要因の変化) ・特になし (事業の効果の発現状況) ・治水 事業完了後において、改修前の流下能力を超える降雨が発生しているが、洪水被害は生じていない。 ・利水 農業用水は改築された堰により確保されており、問題は生じていない。 (事業実施による環境の変化) ・環境 見た目がきれいになったと言う意見はあるが、ヘドロの除去やタイヤ等のゴミを指摘されていることから今後、堆積土砂の除去及びゴミの処理を考えていきたい。 ・親水性・その他 管理用通路が整備され、圃場整備内の道路ともアクセスがし易くなったことから、周辺の大学、高校の通学及び買い物、散策に利用されるようになっていく。 市民大清掃等、河川周辺の清掃活動の参加者も多くなってきている。 (社会経済情勢の変化) ・特になし (今後の事後評価の必要性) ・本事業により洪水被害の軽減効果を確認しており、今後の事業評価の必要性はない。 (改善措置の必要性) ・本事業の整備効果が確認されており、改善措置の必要性はない。 (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性) ・特に見直しの必要はない。
								対応方針(原案)
								(評価結果の同種事業への反映等) ・特になし。

平成23年度 事後評価対象事業一覧表

整理 番号	事業計画						該当基準	事後評価の評価項目
	事業名／施設名	事業箇所	事業概要	工 期		事業費 (億円)		
				着工	完了			
砂防 -1	曽根地区 地すべり対策事業／ 地すべり防止施設	新上五島町	横ボーリング N=196本 法面工 A=3,842m2 アンカー工 N=218本 杭打工 N=47本 水路工 L=410m	H1	H18	11.60	再評価実施 全体事業費 10億円以上 事業完了後 5年	(費用対効果の選定の基礎となった要因の変化) 保全対象人家個数が減少している。 (事業の効果の発現状況) 事業概成後、人家等に被害はない。 現地調査の結果、概成から事後評価までの期間に変状は認められなかった。 地域住民へのアンケートを地区内の64世帯に実施し、33世帯から回答を得た。回答の2/3で事業に効果があったと評価されており、民心安定に繋がっている。 (事業実施による環境の変化) 特になし。 (社会経済情勢の変化) 特になし。 (今後の事後評価の必要性) 事業効果が発現しているため、今後の事後評価の必要はない。 (改善措置の必要性) 改善措置の必要性はない。 (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性) 見直しの必要性はない。
								対応方針(原案)
								(評価結果の同種事業への反映等) 特になし